

筑波大学による医学セミナー

10月31日(土)、1年生の医学部進学希望者に対して、筑波大学による医学セミナーが行われました。今年度はコロナウイルス感染予防のため、ZOOMを利用したオンラインの形で実施しました。

1 日時 令和2年10月31日(土) 13:00～15:00

2 会場 本校地歴公民科講義室

3 講師

筑波大学医学医療系 地域総合診療医学、筑波大学附属病院 総合診療科、笠間市立病院
稲葉 崇先生

筑波大学医学群医学類3年 小瀬戸 章浩 さん

筑波大学医学群医学類2年 大谷 桃花 さん

筑波大学医学群医学類1年 吉井 健人 さん

4 参加生徒 1年生医学部進学希望者

5 内容

前半と後半の2部に分け、前半は稲葉先生から「医師を目指す人へ」の演題で講演を頂き、後半は筑波大学の医学部に在籍している卒業生たちから、「医学部での大学生活」や「受験勉強について」のお話を頂きました。

前半の稲葉先生からは、「茨城県の医療の現状」、「稲葉先生が専門とする総合診療科について」の講話を聞き、茨城県は全国的に見ても医師の数が少ない県であることや、先生が勤務している笠間市立病院での例を踏まえて地域医療の現状を分かりやすく説明して頂きました。生徒たちの関心も非常に高く、茨城県の医療の実態や課題を学べる良い機会となりました。また、高校時代、大学時代、研修医時代から現在に至るまでを成功体験だけでなく、失敗談なども交えて話をしてくれたことで生徒たちにとって共感できる部分が多く、医師の仕事について幅広く知ることができただけでなく、今後の生き方、医師としての心構えの持ち方の参考にもなりました。

後半は、3人の先輩方から、「高校時代の過ごし方」、「大学生活の様子」、「受験勉強のアドバイス」などを伺いました。質疑応答では、「部活動との両立の仕方」、「国語の勉強方法」、「数学の先取り方法」などの質問が出て、受験に合格した身近な先輩からのアドバイスはどれも大変参考になり、アンケートでも参加して良かったと多くの生徒が書いていました。

